

# 平成21年度小城市の家計簿

# 決算報告

平成21年度の小城市の決算がまとまりました。普通会計の決算をもとに前年度と比較しながら家計に例えてみましたので、一緒に見ていきましょう。

小城市の平成21年度普通会計決算額を1か月の家計に例えてみると、小城家の1か月の収入額は41万6千円（前年度より5万7千円の増）です。

収入では、親からの援助（地方交付税、国庫支出金、県支出金、その他の交付金）は5万1千円、新たな借入金（地方債）は5千円増えています。給料（市税）は1千円減っています。

支出では、家の増改築費（投資的経費）やその他生活費のうち自治会費・クラブ会費等（補助費等）の伸びが大きくなっています。これは、親からの援助（国の経済対策）を受けたことによるためです。

生活費では、ローンの返済（公債費）が少なくなっています。これは、前年度以前に親（国）から借りていた資金（借金）の繰上返済が減ったことによるためです。また、食費（人件費）が少なくなったのは職員数の削減によるものです。

## 小城家の1か月の収入・支出の内訳

### 小城家の収入

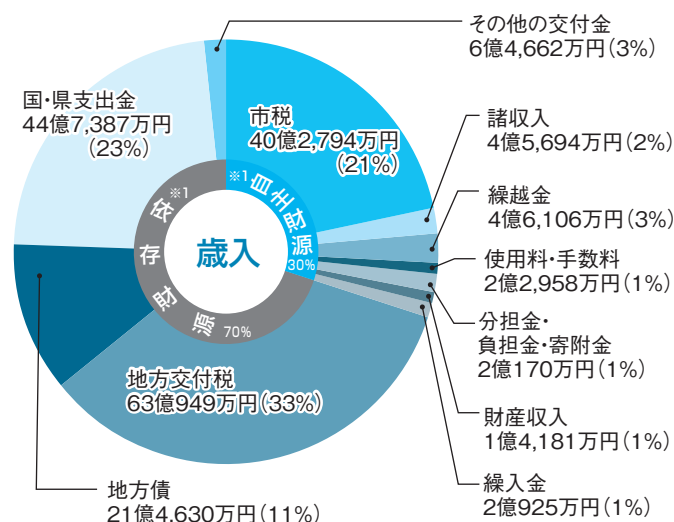
(単位：円、%)

H22.3.31 住民基本台帳人口 46,439人

	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B) (D)	備考
給料	86,736	87,836	▲1,100	▲1.3	市税
親からの援助	246,129	194,683	51,446	26.4	地方交付税 国庫支出金 県支出金 その他の交付金
雑収入	22,180	20,714	1,466	7.1	諸収入 分担金・負担金・ 寄附金 使用料・手数料 財産収入
貯金の取崩し	4,506	5,968	▲1,462	▲24.5	繰入金
前月からの繰越金	9,928	7,845	2,083	26.6	繰越金
新たな借入金	46,218	41,713	4,505	10.8	地方債
合計	415,697	358,759	56,938	15.9	

## 普通会計 歳入・歳出の内訳

### 歳入総額 193億456万円

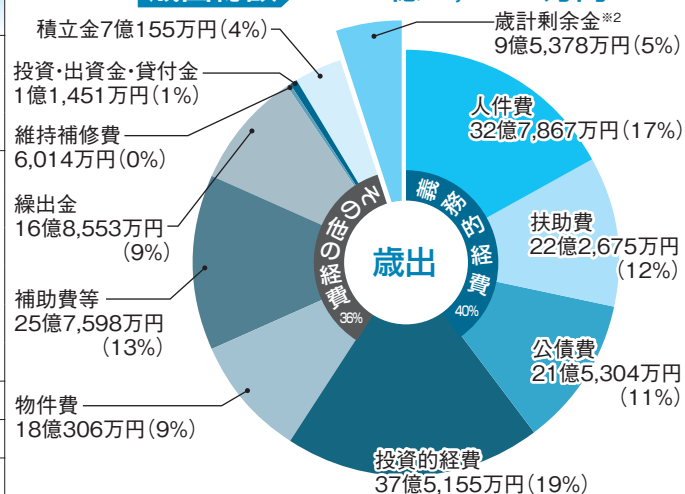


### 小城家の支出

(単位：円、%)

	内訳	平成21年度 (A)	平成20年度 (B)	増減額 (A)-(B) (C)	増減率 (C)/(B) (D)	備考
生活費	食費	70,602	73,584	▲2,982	▲4.1	人件費
	医療費、 教育費等	47,950	46,199	1,751	3.8	扶助費
	ローンの返済	46,363	52,667	▲6,304	▲12.0	公債費
その他生活費	光熱水費・消耗品等	38,826	35,153	3,673	10.4	物件費
	自治会費・ クラブ会費等	55,470	38,004	17,466	46.0	補助費等
	子供への仕送り	36,296	34,754	1,542	4.4	繰出金
	家の修繕費	1,295	1,493	▲198	▲13.3	維持補修費
	友達へ貸した お金	2,466	3,160	▲694	▲22.0	投資・出資金・ 貸付金
貯金	15,107	3,840	11,267	293.4	積立金	
家の増改築費	家の増改築 費用	80,784	55,674	25,110	45.1	投資的経費
その他	来月への 繰越金	20,538	14,231	6,307	44.3	歳計剰余金
合計		415,697	358,759	56,938	15.9	

### 歳出総額 183億5,078万円



※1 自主財源とは、市が自ら調達できる収入です。  
依存財源とは、国や県の決定や割り当てに基づいて収入するものです。

※2 歳計剰余金とは、歳入総額－歳出総額の金額です。  
歳出総額には、歳計剰余金は入りません。

## 指標からみる財政状況

	平成21年度	平成20年度
経常収支比率 財政の弾力性 (ゆとり)の指標	88.3%	91.5%
公債費比率 借金返済の割合	10.8%	11.9%
実質公債費比率 実質的な 借金返済の割合	8.2%	8.7%
財政力指数 自前の財源の割合 (3か年平均)	0.481	0.486
市民税徴収率 (現年課税分)	96.8%	96.7%

**【経常収支比率】** 用途を制限されない経常的な収入（地方税、普通交付税等の毎年収入される性質のもの。）に対する経常的な支出（人件費、公債費、扶助費等の毎年経常的に支出されるもの。）の割合が低いほど自由に使えるお金があることとなります。

**【公債費比率】** 市町村の一般財源の標準的な規模を「標準財政規模」といい、これに対する公債費（借金）の占める割合のことで、借金の償還が市の財政を圧迫していないかを示す指標です。

**【実質公債費比率】** 平成18年度から市債（借入金）の発行が許可制から協議制に移行したことに伴い、従来の起債制限比率にかわり、この新しい比率で起債制限を行うこととされました。この比率が18%以上になれば、地方債の許可団体となり、25%以上になれば、単独事業の起債が認められなくなる起債制限団体となります。

**【財政力指数】** 地方公共団体の財政に力があるかどうかを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源（地方公共団体が自ら調達できる財源）の割合が高く、財政力が強いこととなります。これが1を超えると、普通交付税はゼロで不交付団体となります。

## 小城市の貯金と借入金

### 貯金（年度末残高）

基金名	平成21年度	平成20年度	対前年度増減額
財政調整基金	14億2,763万円	14億1,871万円	892万円
減債基金	17億2,759万円	16億3,834万円	8,925万円
公共施設整備基金	26億2,760万円	20億1,417万円	6億1,343万円
その他特定目的基金	108億2,531万円	108億4,337万円	△1,806万円
合計	166億813万円	159億1,459万円	6億9,354万円

※普通会計分の基金残高です。

### 借入金（年度末残高）

会計	平成21年度	平成20年度	対前年度増減額
一般会計	181億6,064万円	178億4,424万円	3億1,640万円
簡易水道特別会計	3,691万円	3,858万円	△167万円
下水道特別会計	120億7,129万円	110億8,986万円	9億8,143万円
合計	302億6,884万円	289億7,268万円	12億9,616万円

### 企業会計借入金（年度末残高）

会計	平成21年度	平成20年度	対前年度増減額
水道事業会計	8億272万円	8億4,314万円	△4,042万円
病院事業会計	2億9,774万円	3億1,125万円	△1,351万円
合計	11億46万円	11億5,439万円	△5,393万円

小城市の貯金は、166億813万円となり、前年度より6億9,354万円増えました。また、借入金は前年度より12億9,616万円増え302億6,884万円となりました。一般会計においては、今後も義務教育施設の改築事業や本庁舎建設事業を計画しています。また、下水道事業は、平成45年までの予定となっています。そのため、小城市の貯金は年々減少し、逆に借入金が少しずつ増加していくものと考えられます。

企業会計の借入金は、新たな借入金もなく、前年度より5,393万円減り、11億46万円となりました。

**【問合せ】** 財政課 財政係（牛津庁舎）  
担当 南里・手塚  
E-mail [zaisei@city.ogi.lg.jp](mailto:zaisei@city.ogi.lg.jp)  
☎63-8804

# 各会計の決算収支

## 平成21年度会計別決算

会計名		歳入決算額	歳出決算額
普通 会計	一般会計	192億9,289万円	183億4,078万円
	授産場特別会計	3,793万円	3,640万円
	小柳育英資金特別会計	854万円	839万円
	小計	193億3,936万円	183億8,557万円
特別 会計	簡易水道特別会計	734万円	669万円
	下水道特別会計	32億1,425万円	31億5,244万円
	国民健康保険特別会計	47億6,442万円	47億8,515万円
	老人保健特別会計	727万円	387万円
	後期高齢者医療特別会計	4億1,334万円	4億970万円
	小計	84億662万円	83億5,785万円
合計		277億4,598万円	267億4,342万円

※平成21年度決算統計（普通会計）と上記の普通会計の小計が合わないのは、普通会計間でのやり取り（繰入繰出）がなかったもの（相殺）として処理しているためです。

## 平成21年度公営企業会計決算

会計名	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	病院事業会計	病院事業収益	11億6,799万円	資本的収入
	病院事業費用	12億4,797万円	資本的支出	7,987万円
水道事業会計	水道事業収益	2億8,766万円	資本的収入	443万円
	水道事業費用	2億6,980万円	資本的支出	2億6,964万円

# 平成21年度各課の主な事業を紹介します。

担当課	事業名	事業内容	事業費
総務課	防災行政無線設備整備事業	平成19年度から3か年の継続事業で、設備の更新とデジタル化を進めました。平成21年度は事業計画の最終年度で主に防災行政無線（三日月地区子局）の整備を行いました。	192,373千円
	定額給付金給付事業	国の経済対策に伴い、1人当たり12,000円（65歳以上及び18歳以下の者は20,000円）の定額給付金を支給しました。	716,608千円
企画課	本庁舎増改築事業	本庁舎方式への移行に向け、庁舎建設用地や駐車場用地の確保と整備に取り組むために庁舎建設の実設計を行いました。	19,968千円
財政課	低公害車等一斉導入促進事業	二酸化炭素の排出抑制を推進するため、既存公用車をクリーンエネルギー・低公害車（15台）に更新しました。	20,539千円
環境課	一般廃棄物中継応急対策事業	天山地区塵芥処理場内に応急的な施設の建設や唐津市内にある「クリーンパークさが」へごみを搬送するパッカー車を購入しました。	248,269千円
国保年金課	特定健康診査等事業	40歳以上の被保険者に対し義務化された内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健康診査と保健指導を行いました。	13,886千円
福祉課	地域共生ステーション推進事業	高齢者や障害者の皆さんなどが住みなれた地域で安心して生活していくために、ぬくもいホームの施設整備と宅老所などの消防設備整備への補助を行いました。	8,212千円
	安心生活創造事業	一人暮らし高齢者等が地域で安心して暮らせる仕組みを構築するための検証を行いました。	1,957千円

担当課	事業名	事業内容	事業費
健康増進課	がん検診事業	がんの早期発見、早期治療に結びつけるためのがん検診（胃、肺、大腸、子宮、乳、前立腺）を実施しました。	32,009千円
	新型インフルエンザ対策事業	新型インフルエンザ感染の拡大防止のため、マスク等の備蓄、新型インフルエンザ予防接種費用の助成等を行いました。	14,711千円
農林水産課	さかの強い園芸農業確立対策事業	有機栽培やエコ農産物等の生産活動、高品質化や低コスト化、規模拡大、省力化等に必要な機械や施設等の整備に要する費用を助成しました。	11,156千円
	強い農業づくり総合対策事業	佐賀県農業協同組合の三日月地区にある麦大豆兼用施設の再編整備に対して助成しました。	362,500千円
農村整備課	市営土地改良事業	営農の環境整備のために農業用排水路（10路線、延長1,504.6m）の整備を行いました。	117,817千円
商工観光課	プレミアム付商品券発行事業	定額給付金の支給に合わせて、地元商店街等の振興対策のためプレミアム付商品券の発行事業を行いました。	19,961千円
建設課	橋りょう維持管理事業	2m以上15m未満の橋りょう104本と15m以上の橋りょう34本の長寿命化計画を策定するために橋りょう点検業務を行いました。	11,824千円
都市整備推進室	まちづくり交付金事業	人口減少が進行する芦刈地区の拠点形成のため、実験物販所の運営、三王崎地区農村公園の整備、地域交流センターの耐震診断・基本設計、まちづくり活動に対する助成を行いました。	88,851千円
	中心市街地活性化事業	文化、伝統を育み、商業・業務・教育・居住等の都市機能が集積された「小城市の顔」としての中心市街地の再生を図るため、まちなか市民交流プラザ整備の基礎調査や基本計画のフォローアップ・モニタリング調査等を実施しました。	5,577千円
下水道課	家庭用浄化槽設置事業	家庭用の浄化槽設置者に対する補助を行いました。	29,578千円
	下水道整備事業	小城市内の下水道計画区域の浄化センターや管渠の整備を進めました。	2,507,618千円
教育総務課	牛津中学校改築事業	平成22年度末の完成を目指して、老朽化に伴う校舎の改築を進めています。	926,559千円
	学校教育施設耐震補強事業	三日月中学校及び芦刈幼稚園の耐震補強工事及び大規模改造を行いました。	153,817千円
こども課	子育て応援特別手当給付事業	国の経済対策に伴い、3～5歳の子どもで第2子以降を対象とし、1人当たり36,000円の子育て応援特別手当を支給しました。	27,892千円
学校教育課	子ども支援事業	いじめ・不登校などの問題行動等の教育相談事業や子どもサポーターによる特別支援事業の組織・業務等を体系化し、子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育支援を行いました。	53,849千円
	小・中学校パソコン教室パソコン等整備事業	小学校4校及び中学校4校のパソコン教室の機器の整備を行いました。	110,250千円
生涯学習課	サガントス交流宣言スポーツ振興事業	サガントス（プロサッカーチーム）との交流を通して、地域の活性化とスポーツの振興につなげる取組みを行いました。	1,655千円
文化課	屋根のない博物館事業	我が家のお宝展の開催、小城読本の編集、市民学芸員問題集の作成及び文化財案内板・説明板を設置しました。	2,022千円